2027年６月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　IPSホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4335　　ＵＲＬ　http://www.ips.ne.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）渡邉　　寛
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　　（氏名）中川　朋子　　ＴＥＬ　06-6292-6236

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年６月期第１四半期の連結業績（2026年７月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年６月期第１四半期	1,145	54.2	226	275.0	226	277.0	142	314.8
2026年６月期第１四半期	742	△7.5	60	125.1	59	129.9	34	95.4

（注）包括利益 2027年６月期第１四半期　143百万円　（312.0%）　2026年６月期第１四半期　34百万円　（99.7%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年６月期第１四半期	62.35	62.27
2026年６月期第１四半期	15.03	14.99

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年６月期第１四半期	2,941	1,874	62.7
2026年６月期	3,303	1,817	54.1

（参考）自己資本　　2027年６月期第１四半期　　1,843百万円　　2026年６月期　　1,786百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年６月期	ー	0.00	ー	38.00	38.00
2027年６月期	ー				
2027年６月期（予想）		0.00	ー	38.00	38.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年６月期の連結業績予想（2026年７月１日～2027年６月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期（累計）	1,900	4.1	190	△2.1	190	△2.1	133	13.4	58.13
通期	3,800	0.6	380	3.0	380	3.2	266	17.9	116.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－

除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年６月期１Ｑ	2,466,000株	2026年６月期	2,466,000株
② 期末自己株式数	2027年６月期１Ｑ	178,025株	2026年６月期	178,025株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年６月期１Ｑ	2,287,975株	2026年６月期１Ｑ	2,287,975株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、（添付資料）２ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
(継続企業の前提に関する注記) …… 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) …… 7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) …… 7
(セグメント情報等の注記) …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やAI投資関連の拡大等により、景気は緩やかな回復基調にありますが、個人消費においては依然として慎重な動きが見られます。一方、不安定な世界情勢や資源価格の動向、為替相場の変動等、経済の見通しは引き続き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、企業のIT投資意欲は底堅く推移しており、業界全体の需要は今後も堅調に推移していくものと期待されております。特に多くの企業において、デジタル化や業務効率化への取組が加速しており、クラウドや生成AIをはじめとした先端技術の活用に向けた投資も一層広がりを見せていくものと思われます。

かかる状況の下、当社グループは顧客企業のイノベーションの実現とビジネス変革、成長を支援することを目的として、各種施策に取り組んでおります。当社グループは製造業における業務効率化やデジタル変化に対応する低コストで迅速に導入が可能な「クラウドERP」が課題解決の鍵として、中堅・成長企業へクラウドERPの導入を推進し、中堅・成長企業のビジネス変革を多面的に支援できるように、コンサルティングパートナーへとビジネスを深化させてきました。

ITエンジニアリング事業においては、AI/IoT技術を活用して工場全体の運営・管理の仕組みを見直し、生産高の増大やコストダウンを目指すスマート工場支援サービスにも取り組んでおり、積極的にセミナーを開催して、すそ野を広げる活動に邁進してきました。

以上のような活動を積極的に推進した結果、当第１四半期連結累計期間の経営成績につきましては、受注が堅調に推移したことや新規案件の獲得および既存顧客との取引拡大により、売上高は前年同四半期を大きく上回り、売上高11億45百万円（前年同四半期比54.2%増）となりました。利益面につきましては、増収による押上効果に加え、生産性向上やプロジェクト管理の強化による収益性の向上およびコスト抑制の成果により営業利益２億26百万円（前年同四半期比275.0%増）、経常利益２億26百万円（前年同四半期比277.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益１億42百万円（前年同四半期比314.8%増）でいずれも大幅な増益となりました。

なお、当社グループはERP導入関連事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載は省略しております。製品及びサービス毎の情報は以下のとおりであります。

（ERP導入事業）

売上高９億51百万円（前年同四半期比80.6%増）となりました。

（保守その他事業）

売上高１億94百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して、３億61百万円減少して29億41百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金が１億84百万円減少し８億80百万円、売掛金が１億８百万円減少し６億88百万円、固定資産が14百万円増加し９億５百万円であります。

当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比較して、４億18百万円減少して10億67百万円となりました。主な内訳は、前受金が１億36百万円減少し１億30百万円、退職給付に係る負債が12百万円増加し４億50百万円であります。

当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比較して56百万円増加して18億74百万円となりました。主な内訳は、利益剰余金が55百万円増加し16億２百万円であり、自己資本比率は62.7%となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年６月期の連結業績予想につきましては、2026年８月７日に公表しました業績予想に変更はございません。

当第１四半期の業績は、すでに第２四半期の業績予想を上回っておりますが、各プロジェクトの進捗状況等を勘案し、現時点では業績予想を据え置いております。

今後、見通しの精度向上が見込まれる段階において、業績予想を見直してまいります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,064,323	880,238
売掛金	796,978	688,818
仕掛品	99,646	49,229
前払費用	201,857	163,152
未収入金	9,625	9,070
未収消費税等	168,606	171,958
その他	71,414	73,652
流動資産合計	2,412,451	2,036,120
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	85,998	86,503
車両運搬具（純額）	0	5,228
工具、器具及び備品（純額）	70,531	66,213
土地	139	139
有形固定資産合計	156,670	158,085
無形固定資産		
ソフトウエア	3,155	276,569
ソフトウエア仮勘定	280,622	－
その他	787	787
無形固定資産合計	284,565	277,357
投資その他の資産		
投資有価証券	7,421	8,899
関係会社株式	21,791	21,791
繰延税金資産	265,089	284,746
差入保証金	100,998	99,788
その他	54,716	55,032
投資その他の資産合計	450,017	470,258
固定資産合計	891,253	905,701
資産合計	3,303,705	2,941,821
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,440	108,883
未払金	178,671	98,423
未払費用	2,654	11,756
未払法人税等	250,182	98,531
未払消費税等	188,564	71,736
前受金	267,452	130,538
賞与引当金	11,861	76,527
株主優待引当金	8,595	－
その他	34,818	15,049
流動負債合計	1,045,240	611,446
固定負債		
退職給付に係る負債	437,444	450,018
長期未払金	3,160	5,559
固定負債合計	440,604	455,578
負債合計	1,485,844	1,067,024

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年６月30日)	当第１四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	255,250	255,250
資本剰余金	107,866	108,129
利益剰余金	1,546,509	1,602,232
自己株式	△125,139	△125,139
株主資本合計	1,784,486	1,840,471
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,012	2,963
その他の包括利益累計額合計	2,012	2,963
新株予約権	31,361	31,361
純資産合計	1,817,861	1,874,797
負債純資産合計	3,303,705	2,941,821

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上高	742,935	1,145,694
売上原価	515,542	734,284
売上総利益	227,393	411,410
販売費及び一般管理費	167,020	185,013
営業利益	60,373	226,397
営業外収益		
受取利息	17	10
為替差益	－	47
未払配当金除斥益	－	127
その他	263	－
営業外収益合計	280	184
営業外費用		
コミットメントフィー	450	450
為替差損	111	－
その他	130	100
営業外費用合計	691	550
経常利益	59,962	226,031
税金等調整前四半期純利益	59,962	226,031
法人税等	25,565	83,365
四半期純利益	34,396	142,665
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,396	142,665

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　2025年７月１日 至　2025年９月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　2026年７月１日 至　2026年９月30日)
四半期純利益	34,396	142,665
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	459	951
その他の包括利益合計	459	951
四半期包括利益	34,855	143,616
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,855	143,616
非支配株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第１四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第１四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第１四半期連結累計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	2,943千円	15,889千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自2025年７月１日　至2025年９月30日）

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自2026年７月１日　至2026年９月30日）

当社グループは、ERP導入関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。